

# LRT整備に関する最近の話題

---

令和元年11月8日

国土交通省都市局街路交通施設課

工藤 健一

**(1)LRTを取り巻く現状と支援制度**

**(2)LRT等に関する最近の整備事例**

# (1)LRTを取り巻く現状と支援制度

---

# コンパクト・プラス・ネットワークの推進

- 都市のコンパクト化は、縮退均衡を目指すものではなく、居住や都市機能の集積による「密度の経済」の発揮を通じて、
  - ・ 生活サービス機能維持や住民の健康増進など、**生活利便性の維持・向上**
  - ・ サービス産業の生産性向上による**地域経済の活性化**（**地域の消費・投資の好循環の実現**）
  - ・ 行政サービスの効率化等による**行政コストの削減**
 などの**具体的な行政目的を実現するための有効な政策手段**。

## 都市が抱える課題

都市を取り巻く状況

- **人口減少・高齢者の増加**
- **拡散した市街地**



### ■ 都市の生活を支える機能の低下

- 医療・福祉・商業等の生活サービスの維持が困難に
- 公共交通ネットワークの縮小・サービス水準の低下

### ■ 地域経済の衰退

- 地域の産業の停滞、企業の撤退
- 中心市街地の衰退、低未利用地や空き店舗の増加

### ■ 厳しい財政状況

- 社会保障費の増加
- インフラの老朽化への対応

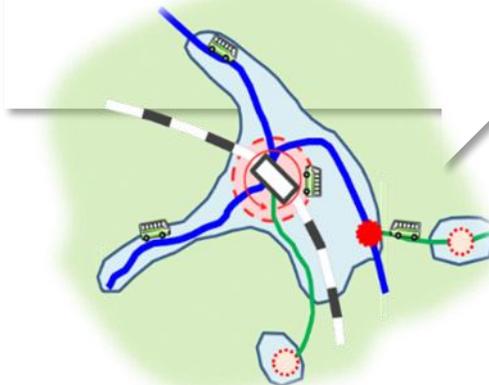
## コンパクトシティ

生活サービス機能と居住を集約・誘導し、人口を集積

+

## ネットワーク

まちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築



中心拠点や生活拠点が利便性の高い公共交通で結ばれた多極ネットワーク型コンパクトシティ

## コンパクトシティ化による効果の例

### 生活利便性の維持・向上等

- 生活サービス機能の維持・アクセス確保などの利用環境の向上
  - 高齢者の外出機会の増加、住民の健康増進
- ➡ 高齢者や子育て世代が安心・快適に生活・活躍できる都市環境

### 地域経済の活性化

- サービス産業の生産性向上、投資誘発
  - 外出機会・滞在時間の増加による消費拡大
- ➡ 地域内での消費・投資の好循環の実現

### 行政コストの削減等

- 行政サービス、インフラの維持管理の効率化
  - 地価の維持・固定資産税収の確保
  - 健康増進による社会保障費の抑制
- ➡ 財政面でも持続可能な都市経営

### 地球環境への負荷の低減

- エネルギーの効率的利用
  - CO2排出量の削減
- ➡ 低炭素型の都市構造の実現

- コンパクト・プラス・ネットワーク等の都市再生の取組をさらに進化させ、官民のパブリック空間をウォークブルな人中心の空間へ転換し、民間投資と共鳴しながら「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成
- これにより、多様な人々の出会い・交流を通じたイノベーションの創出や人間中心の豊かな生活を実現し、まちの魅力・磁力・国際競争力の向上が内外の多様な人材、関係人口を更に惹きつける好循環が確立された都市を構築

※人口規模の大小等を問わず、その特性に応じた手法で実施可能



居心地が良く歩きたくなるまちなか (イメージ)

**Walkable**

歩きたくなる

居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたい、歩きたくなる。

**Eye level**

まちに開かれた1階

歩行者目線の1階部分等に店舗やラボがあり、ガラス張りで中が見えると、人は歩いて楽しくなる。

**Diversity**

多様な人の多様な用途、使い方

多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。

**Open**

開かれた空間が心地良い

歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。

都市構造の改変等

- 都市構造の改変 (通過交通をまちなか外へ誘導するための外周街路整備等)
- 都市機能や居住機能の戦略的誘導と地域公共交通ネットワークの形成
- 拠点と周辺エリアの有機的連携
- データ基盤の整備 (人流・交通流、都市活動等に係るデータプラットフォームの構築等) 等

1階をガラス張りの店舗にリノベーションし、アクティビティを可視化  
民間敷地の一部を広場化 (宮崎県日南市)



2つの開発の調整により  
一体整備された神社と森 (東京都中央区)



駅前のトランジットモール化と広場創出 (兵庫県姫路市)



道路を占用した夜間オープンカフェ (福岡県北九州市)



公園を芝生や民間カフェ設置で再生 (東京都豊島区)

# 路面電車・LRT等の全国分布状況

○現在、国内では19社の軌道事業者が路面電車やLRT(次世代型の軌道交通システム)を運営



# LRTの支援スキーム

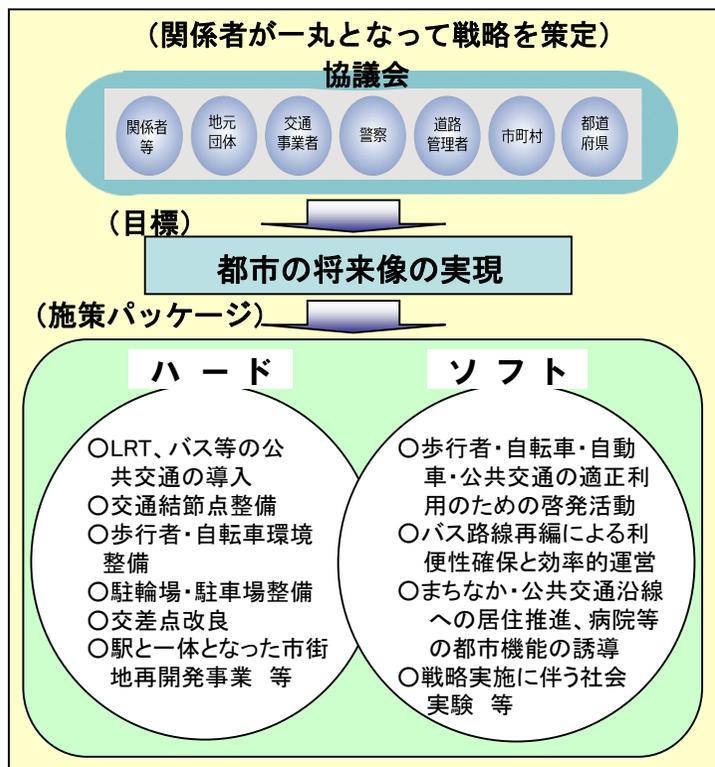
---

# 総合的な都市交通戦略の推進

- 多様な主体で構成される協議会において総合交通戦略を策定することにより、都市・地域において安全で円滑な公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを推進し、持続可能な都市を実現。
- 総合交通戦略に基づき、LRTやバス走行空間の整備、交通結節点の改善、公共交通の利用促進や徒歩・自転車の利用環境の整備等を実施。

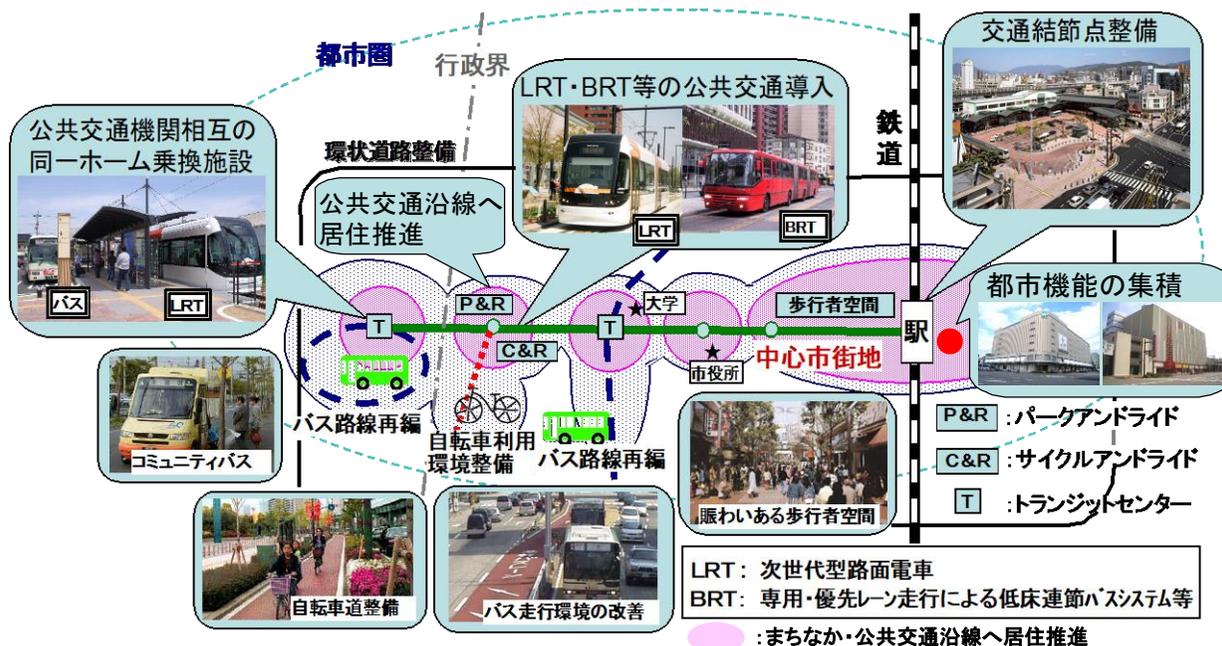
(都市局 街路交通施設課)

## 都市・地域総合交通戦略の策定



**戦略実施プログラム**

## 総合的な交通連携の施策・事業の展開イメージ ～公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり～



**【取組の効果】**

**「コンパクト+ネットワーク」の推進**

## 地方公共団体等向け

- ・公設部分
- ・事業者への間接補助 等

## 社会資本整備総合交付金等

LRTの走行空間（走行路面、停留所等）、施設の整備等  
に対し総合的に支援

国費率：国 1/2等

【交付対象者】地方公共団体等

## 事業者向け

**訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業  
費補助金**（交通サービス利便向上促進事業）

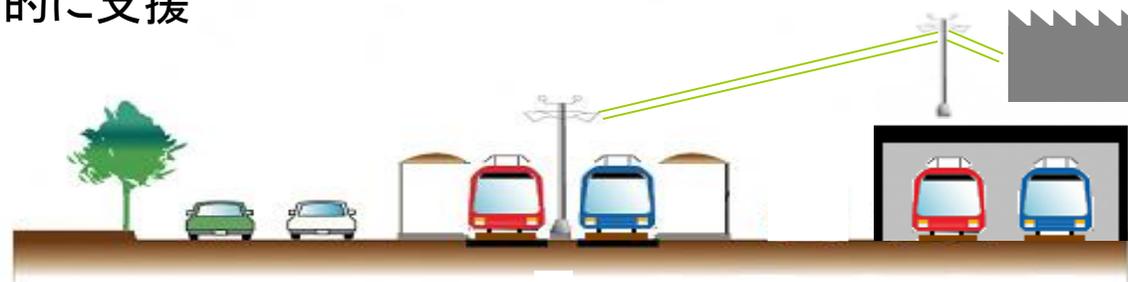
**観光振興事業費補助金**（公共交通利用環境の革新等事業）

LRTシステムの構築に不可欠な施設（低床式車両、  
制振レール、車庫、変電所等）の整備に対して補助

補助率：国 1/3等

【補助対象者】鉄軌道事業者

上下分離方式などさまざまな官民の役割分担によるLRT整備を  
総合的に支援



平成31年度予算:8,713億円の内数(平成30年度予算額:8,886億円の内数)

社会資本総合整備計画に位置付けることにより、社会資本整備総合交付金を活用し、LRTの整備に対して総合的、一体的な施策の推進が可能。

## 社会資本整備総合交付金による総合的なLRT導入のイメージ

《LRTの整備を含めた多様な都市交通施設の整備》

【LRTの導入】



LRT走行空間、施設の整備

【交通結節点の整備】

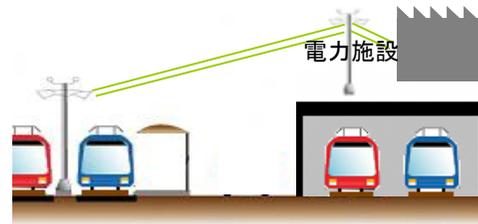


駅前広場の整備

【駐輪場の整備】



【LRT関連施設整備】



車両基地、電力施設等の整備

【歩行者空間整備】

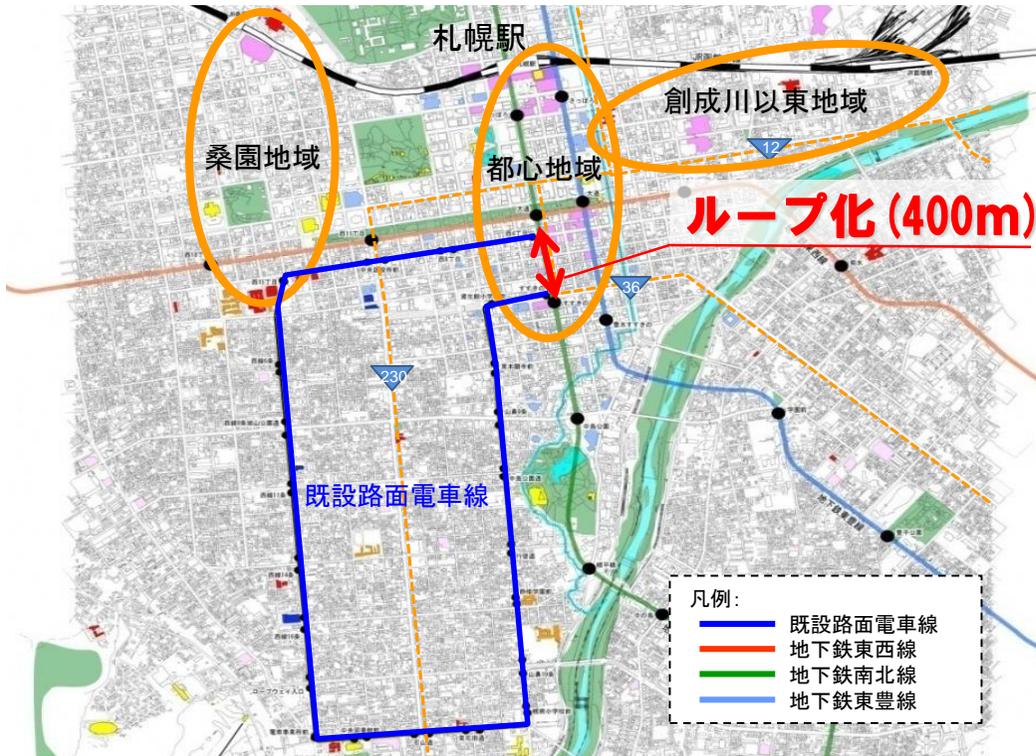


※写真はいずれも整備イメージ

## (2)LRT等に関する最近の整備事例

---

札幌市では、経営基盤強化及び都心部内でのまちづくりへの活用のため、路面電車のループ化と延伸を計画（延伸検討箇所は、都心地域、創成川以東地域、桑園地域）。平成27年12月20日にループ化を開業。順次、既設線の電車停留場のバリアフリー化等を順次進める予定。



札幌駅前通でのループ化(サイドリザベーションによる整備)



## 【検討経緯概要】

- 平成24年度：ループ化に向けた実施設計、低床式車両の製造に着手
- 平成25年度：法定手続き、低床式車両1編成の運行開始
- 平成27年度：400m延伸し、ループ化開業(12月20日)

# 福井駅周辺におけるプロジェクト

○路面電車と地方鉄道の相互乗り入れと併せて、再開発を進める J R 福井駅において、路面電車の駅前広場乗り入れを開始するなど、基幹的公共交通軸を強化





相互乗り入れにより、利用者の利便性が向上

〔運行時間の短縮〕

越前武生 ⇄ 鷲塚針原駅

約80分 → 約60分（約20分短縮）

〔運行本数の増〕（9～15時）

福井鉄道区間

6本/時 → 8本/時（2便/時増）

えちぜん鉄道区間

4本/時 → 6本/時（2便/時増）



更に、相互乗り入れにより改修された田原町駅の周辺に、交流広場を整備  
（H29年度末完成）

# 富山市のLRTネットワーク構想

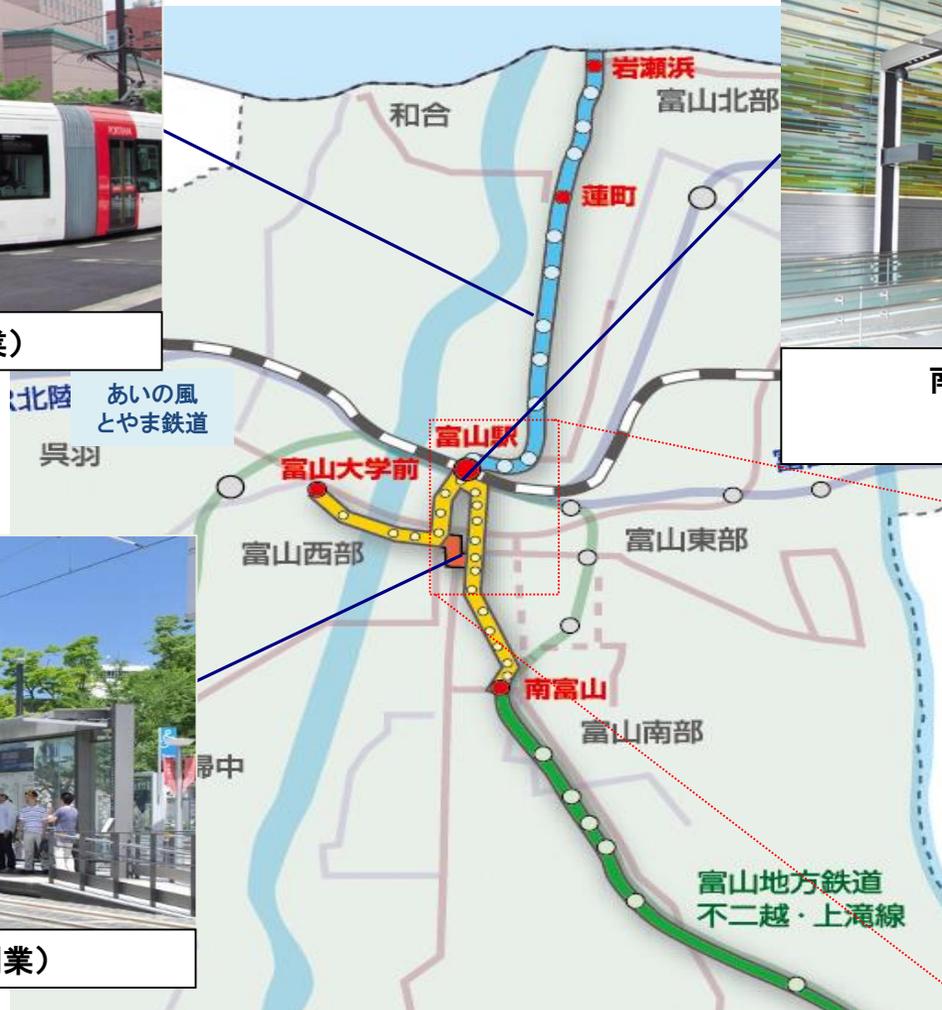
○富山市は、LRTをはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの実現を目指す



富山ライトレール(2006年開業)



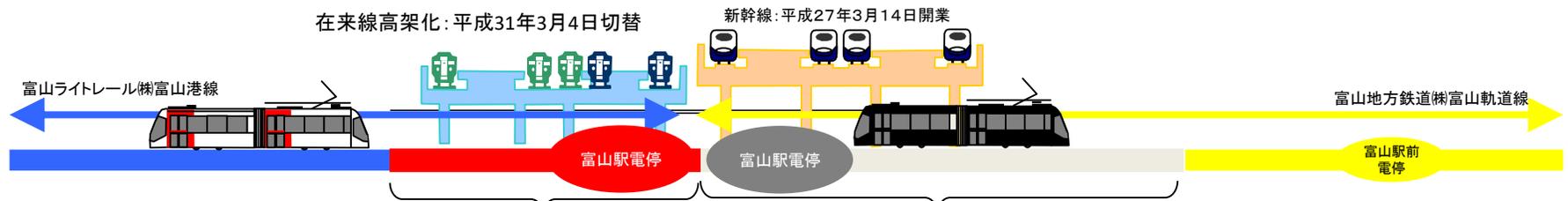
南北接続 第1期(2015年開業)  
第2期(2019年度開業予定)



市内電車環状線(2009年開業)



富山市では、北陸新幹線開業・JR在来線高架化完了後において、富山駅との結節強化を図るとともに公共交通ネットワークを大幅に向上させるため、富山ライトレール(株)富山港線と富山地方鉄道(株)富山軌道線の接続線整備を段階的に実施する予定。



**第2期:平成31年度に完成予定**

**第1期(延長0.16km):平成27年3月14日開業**



### <プロジェクトの概要>

**第1期 (新幹線開業時(平成27年3月14日)に開業)**  
 延長0.16km  
 下(富山市)－新線区間は全て制振軌道を整備、新設電停はバリアフリー対応  
 上(富山地方鉄道(株))－全22編成中6編成がLRV、更に31年度まで3編成導入予定

**第2期(平成31年度に完成予定)**  
 延長約0.09km、電停1箇所  
 下(富山市)－新線区間は全て制振軌道を整備、新設電停はバリアフリー対応  
 上(富山ライトレール(株))－全7両中7両がLRV

宇都宮市及び芳賀町では、「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を図るため、東西方向の交通軸となる基幹的公共交通としてLRTを位置づけ。

平成30年3月に都市計画事業認可及び工事施行認可を取得し、上下分離方式による整備を推進中。

## ○ 軌道運送高度化実施計画概要

- ・ 申請日：平成28年1月22日【平成28年9月26日認定】
- ・ 申請者：軌道整備事業者(整備主体) 宇都宮市、芳賀町  
軌道運送事業者(運行主体) 宇都宮ライトレール株
- ・ 整備区間：宇都宮市宮みらい(JR宇都宮駅東口)～芳賀郡芳賀町大字下高根沢
- ・ 営業キロ：14.6km
- ・ 運行計画：ピーク時6分間隔(10本/時)  
オフピーク時10分間隔(6本/時)



宇都宮テクノポリスセンター地区  
面積: 177.2畝  
計画人口 1万3千人



栃木県グリーンスタジアム  
収容人員 約1万5千人

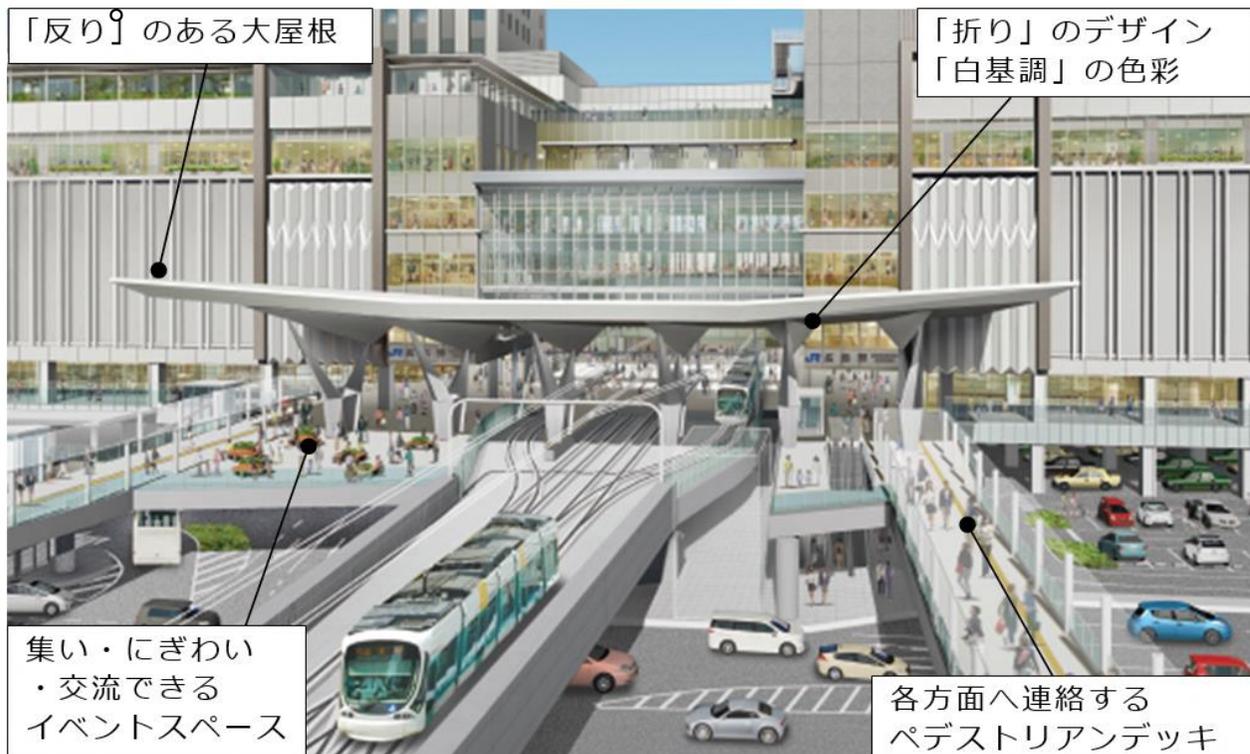


清原球場 収容人員 約3万人

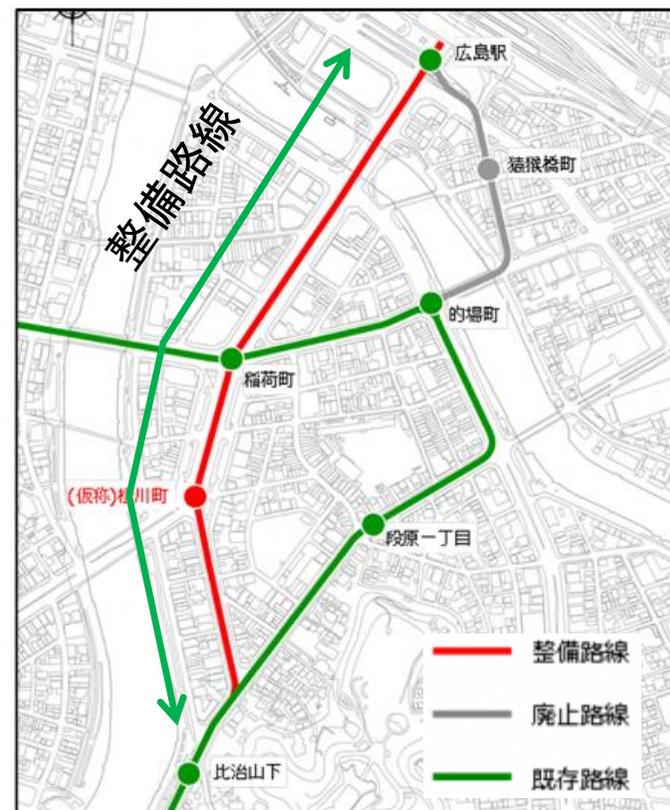


# 広島電鉄駅前大橋ルート等整備(広島駅南口広場の再整備)

- 平成31年3月に、広島市と広島電鉄、JR西の3者は、広島駅南口広場の再整備の方針を取りまとめ。
- 3者は、整備方針に基づき各々の施設の実施設計を行い、一体感のある魅力的な駅前空間の創出を図る。
- 市内電車については、駅前ルートおよび循環ルートを整備し、広島駅における乗り継ぎの改善に加え、市中心部への所要時間を短縮するなど、鉄道駅から市内へのアクセス性を向上



【整備方針2・整備方針3の整備イメージ(外観)】



出典:広島市HP

出典:広島電鉄(株)HPを一部加工

# 吉備線(桃太郎線) LRT化構想

岡山市と総社市、JR西日本は、平成30年4月に吉備線のLRT化に向けた役割分担等について合意。今後は地元への説明や議会等からの意見を広く伺いながら、運行本数、所要時間、運賃、新駅などに関する計画を具体化。

## 【主な経緯】

- 平成15年2月 JR西日本の富山港線と吉備線のLRT化構想が新聞記事となる
- 平成18年6月 岡山市議会で「市はLRTの検討に着手する。」と答弁
- 平成21年10月 岡山市都市交通戦略を策定（吉備線LRT化を中期的施策と位置付け）
- 平成26年12月 吉備線LRT化基本計画素案を公表
- 平成28年5月 吉備線LRT化に関する3者会議（岡山市長、総社市長、JR西日本岡山支社長）を開催
- 平成30年4月4日 吉備線LRT化に関する3者会議（岡山市長、総社市長、JR西日本社長）を開催し、役割分担、費用負担の考え方について合意

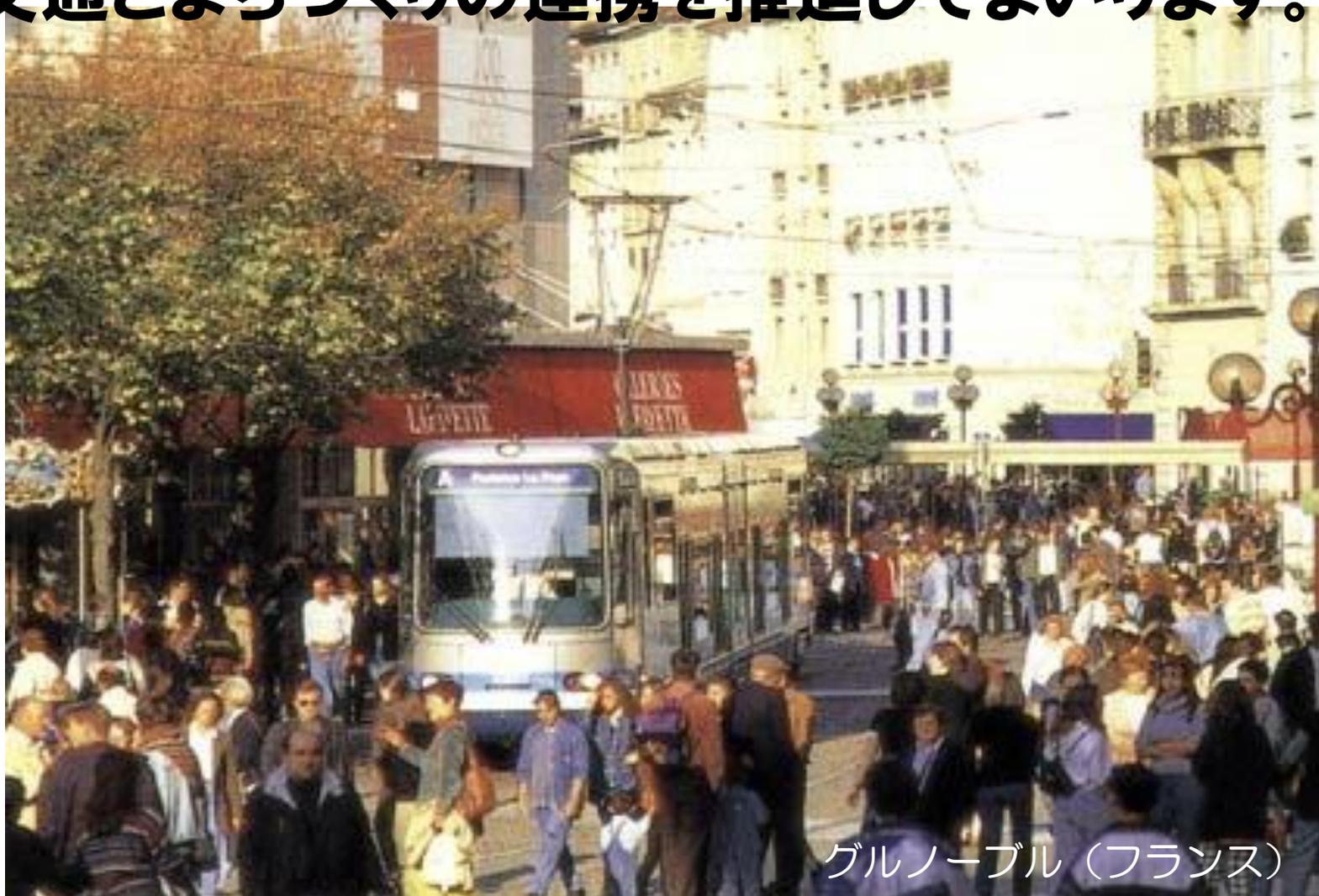


路線位置図



整備イメージ

**持続可能な都市の実現に向け、  
交通とまちづくりの連携を推進してまいります。**



グルノーブル（フランス）

**ご静聴ありがとうございました。**